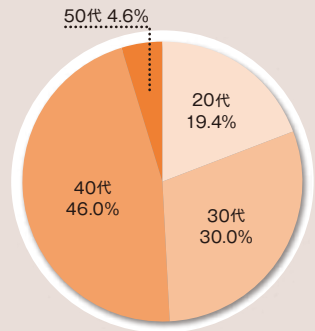
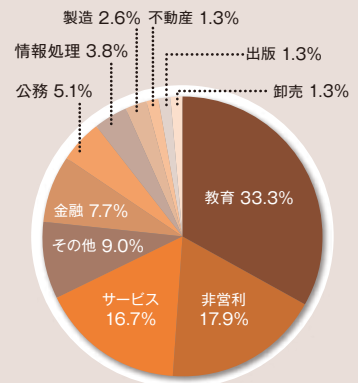


受講生の年齢別割合



修了生の就職先割合



日本女子大リカレント教育課程

受講生
Cさん
48歳

子どもは高1、中1。離職15年間でIT化が進み「パソコンのできない自分はダメ。ITスキルと英語力をつけて貿易実務の仕事に」と、夢を語ります。

二人はリカレント受講生を代表する例のようですが、高頭先生は手厳しい。「リカレントに来る人たち、特に、バブル時代に働いていた人たちの多くは働くことに漠然とした夢を持っていますが、自分が何をやるか、何をしたいかがよくわかっていない。資格を取っただけで、今すぐ、その資格を生かせるポジションが中途採用で見つかるわけではありません。ここではビジネス全般の基本を幅広く勉強し、社会で働く自覚と自信を取り戻し、人間と

しての総合力をつけた自己の確立をして欲しい。学ぶことで一旦リセットして、これから先を考えてみようとなればと思います」。

強力なバックアップで
希望者は100%就職

就職支援も積極的に行われます。リカレント主催の合同会社説明会、企業採用担当者を招いたイベント開催、また、専用ウェブサイトでは修了者指名の求人、大学への求人でも中途採用のものや、大学同窓会に集まる求人情報の提供も。家庭環境、働く動機、働き方なども様々に就職率は表しにくいとしながらも希望者はほぼ全員が就職しています。(右グラフ参照)

しかし再就職でいきなり正社員に就

くのはそれほど簡単ではないと、就職担当をする上山絵美子さん。「中途採用では求められるスキルが高度。プランクのある場合はやはりパート就業が多くなります。こうした場合、既婚者で一応生活が安定している方の中には、いい仕事がないからと働くのを躊躇してしまう人も少なくないので残念」と言います。

社会貢献事業としてママたちに開く

「昭和女子大学のキャリア塾」

再就職を考えるママを鍛える「ブラッシュアップキャリア塾」

入学資格はなく、「再就職コース」の受講料は15000円+登録料5000円。小原奈津子副学長によれば「社会貢献の一つと捉え」、大学側が授業料の半分以上をサポートしているのです。

講座は毎週火曜、2講座ずつで10週間。修了には、必修科目(面接講座、キャリアアプランニングゼミなど)と選択科目(パソコン基礎、プレゼンテーション、コミュニケーションなど)から1講座以上の受講と、3分の2以上の出席が必要です。

「今は小学生のお母さんたちの多くが何らかの形で働いているのが当たり前ですが、育児休業が取れている人は少ない。だから、早く保育園に預けて復帰したいと、『再就職コース』に来るケースは多いです」と話すのは面接講座を担当する上田晶美先生。

企業で人事10年、キャリアコンサルタント20年の経歴を持つ上田先生は、「まず踏み出すことで情報が入ってくる。子どもの成長と共に、パートから少しずつ大きくしていけばいい」と、一歩ずつキャリアアップすることを提案しています。

受講生
Dさん
33歳

短大卒業後、クレジット会社に2年半勤め結婚で退職。子どもが5歳と8歳になり自由な時間が。子どもの成長を見ながら契約かパートで働き、いずれフルタイムで貿易関係の仕事に就きたいとライフプランを考えています。

受講生
Eさん
44歳

子どもは中2。大学の英文科を出て商社に7年、結婚で退職。夫の転勤で計9年間の海外生活を送り帰国して1年半余が経ちました。「何かしたい」と